様式 1

ちょっと自慢の公民館活動

うなって日及の五代品/日勤					
		市町名		宇和島市	
		公民館等名		下灘公民館	
		五八郎寺石		地区館	
		連絡先(Tel)		0895-35-0001	
		ホームページアドレス		https://www.city.uwajima.ehime.jp/soshik i/32/gakusyuu083.html	
		SNS			
事業分野	13 伝統・文化	事業名	和船乗船体験		
趣旨・目的	・ 地域の伝統行事を学び、体験することでより身近に感じてもらう。 				
対 象	小学生			参加人数	100名

〈事業内容〉

1 概要

現在も人力で漕がれている木造船では、おそらく日本 一の大きさを誇る和船です。

宇和島市津島町下灘地区の「和船競漕」(地元では押舟と呼ばれています)を継承していくため、数年前から学ぶ機会を設けてきました。令和5年度は和船競漕をより身近に感じてもらうため、初めて櫓(ろ)を漕ぐ体験を行いました。

地域学校協働活動の一環で、地元の小学校だけでなく 近隣の小学校の児童も参加し、小学校区を越えて交流を 図りました。押舟保存会に協力いただき、7月2、4、 5日の3日に分けて2校の全校児童が実際に櫓(ろ)を漕いで下灘地区の伝統に触れました。(安全を考慮し、和 船は桟橋に係留したまま体験しました。)



【和船競漕の歴史を学ぶ児童】



【カー杯櫓(ろ)を漕ぐ児童】

- 船がゆらゆらしていたけど、迫力があっておもしろかった。(小学2年生)
- 大きくなったら僕も和船競漕に参加したいと思います。(小学5年生)
- IO これまで以上に押舟に興味をもったみたいです。今後も実施していただければ ■ ありがたいです。 (保護者)
- 〇 伝統に触れる少ない機会。今後も継続していきたい。(主催者)

2 その他参考となる内容

和船競漕は180年以上の歴史がある宇和島市津島町下灘地区の伝統行事です。

2隻の和船に下灘の住民が(各40人程)乗り込み競漕してきましたが、漕ぎ手である 若手の人数確保が困難になってきたため、今年は市内の高校生や下灘以外の人にも

加を呼びかけ、各30人で競漕しました。

伝統行事を次世代につないでいくため、今後も事業を継続していきます。